

## 令和 5 年度札幌市社会福祉審議会地域福祉活動専門分科会の振り返り

### 1. 概要

令和 5 年度社会福祉審議会地域福祉活動専門分科会では初回の開催ということもあり、分科会の開催目的の確認、事業概要及び現状の説明、持続可能な事業としていくための 3 つの観点の提示を行い、様々な視点からご意見を頂いた。

### 2. 持続可能な事業としていくための 3 つの観点の提示

- (1) 協力員を十分に確保するための対応策
- (2) 利用世帯の増加やニーズに対応するための対応策
- (3) 町内会等地域組織及び実務を行う社会福祉協議会の負担軽減策

### 3. 議題及び 3 つの観点に対する各委員からの意見・要望等について（要約）

別紙 1 参照

### 各委員から頂戴した意見等について（要約）

【池田会長】

要望：札幌市の近郊自治体の取り組み事例に係る資料の提示

要望：事業評価について提示（どんな所に不満、要望があるか）

【忍副会長】

意見：一つの参考提示として、要介護、要支援世帯という形で限定するなど、利用者要件について、何らかの制限をつけていく必要があるのではないか。

意見：ボランティアということだけではなく、運動部に声をかける（活動費を稼ぐ）という仕組みづくりも一つの案かと思う。色々な案があると思うので検討していければ良いのではないかと。

【大西委員】

意見：市職退職者以外の退職者への呼びかけも必要ではないか。

意見：利用者要件の見直しが必要ではないか

要望：協力員の高齢化に係る資料の提示

【長江委員】

意見：吹奏楽部の人たちも活用できれば、それを見た親御さんに繋がるのではないかと。

【林委員】

意見：学生のスポット的な活用について、春休みなど時間がある期間を活用してもらうのが良いのではないかと。現状は協力員が活動できない期間に代わりに活動を行うが、それ以外の形態でもスポットでの参加を導入することを検討するのが良いのではないかと。

意見：若い人へ向けた広報を、SNSなどを通して行う方法もあるのではないかと。